

地球の静止する日（1951）

THE DAY THE EARTH STOOD STILL

メディア 映画

ジャンル SF ドラマ

製作国 アメリカ

色彩 B&W

時間 92分

初公開日 1952/03/21

公開情報 FOX極東

【解説】

突如、ワシントンに飛来した円盤。降り立った異星人クラトゥは地球人の未来を懸念し、人類に核兵器の放棄を要求する。そして要求が受け入れられない場合、地球上の全エネルギーを停止させると宣言した……。怪獣やら宇宙人が暴れ回る、スペクタクル優先の“空想科学映画”というジャンルにおいて、ドラマの展開に重きを置き、人類と異星人とのファースト・コンタクトと、それに対する人類の動向をシミュレーション風に展開させた本格SF映画の先駆的作品。この題材をサスペンス色豊かに映像化したR・ワイズのタイトな演出が光る。M・レニー扮する異星人クラトゥと、その配下であるロボット、ゴートは、「未知との遭遇」が登場するまで、友好的宇宙人の代名詞であった。

【クレジット】

監督	ロバート・ワイズ	Robert Wise	
製作	ジュリアン・ブロースタイン	Julian Blaustein	
原案	ハリー・ベイツ	Harry Bates	
脚本	エドモンド・ノース	Edmund North	
撮影	レオ・トーヴァー	Leo Tover	
編集	ウィリアム・レイノルズ	William Reynolds	
音楽	バーナード・ハーマン	Bernard Herrmann	
出演	マイケル・レニー	Michael Rennie	クラトゥ
	パトリア・ニール	Patricia Neal	ヘレン・ベンソン
	ヒュー・マーロウ	Hugh Marlowe	トム・スティーヴンス
	サム・ジャッフェ	Sam Jaffe	ジェイコブ・バーンハート教授
	ビリー・グレイ	Billy Gray	ボビー・ベンソン
	フランシス・ベイヴィア	Frances Bavier	バーレイ夫人
	ロック・マーティン	Lock Martin	ゴート